

ホーム > プレスルーム > 2023年 > 米国における車載用電池工場へ約3.7億米ドルを追加投資

米国における車載用電池工場へ約3.7億米ドルを追加投資

その他

豊田通商株式会社（以下、豊田通商）は、[トヨタ自動車株式会社](#) の北米統括会社である [Toyota Motor North America, Inc.](#) （以下、TMNA）と池生産の会社である Toyota Battery Manufacturing, North Carolina (トヨタ・バッテリー・マニュファクチャリング・ノースカロライナ 以下、TBMN) における車載用電池生産の準備を進めています。

このたび、豊田通商は、バッテリー電気自動車（以下、BEV）用電池の生産能力を増強するために、約3.7億米ドルを投資します。今回の投資による累計投資額は約139億米ドル、総雇用数は5,000人を超える予定です。そのうち豊田通商の累計投資額は、約7.5億米ドルです。

今回の追加投資により、BEV用電池の生産能力を増強することに加え、プラグインハイブリッド自動車（以下、PHEV）用電池の生産も行います。新線を順次立ち上げ、BEV・PHEV用電池生産ラインを2030年までに計10ラインとすることで、年間30GWh以上の生産が可能となります。

TBMNC概要





名称	Toyota Battery Manufacturing, North Carolina (トヨタ バッテリー マニュファクチュアリング ノースカロライナ)	# テーマ
所在地	ノースカロライナ州グリーンズボロ・ランドルフ・メガサイト	メール配信 サービス
設立	2021年11月	
生産開始	2025年（予定）	
社長	Sean Suggs	
出資比率	TMNA 90% 豊田通商 10%	
事業内容	車載用電池の製造 (ハイブリッド自動車用・BEV用・PHEV用電池を2025年より順次生産開始予定)	

豊田通商グループは、GHG削減に貢献する事業の推進を重要な戦略として位置付けています。その中で、車載用電池関連ビジネスを次世代に向けた見え、自動車生産ビジネスで培ったノウハウを生かした幅広い付加価値の創造によって、TBMNCの立上げ・運営・生産活動を支援してまいります。

豊田通商グループは、未来の子供たちへより良い地球環境を届けるために、カーボンニュートラルへの取り組みを推進することで、脱炭素社会への利

本件に関連する当社サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）

<社会課題の解決と会社の成長を両立する最重要課題>

	交通死傷者ゼロを目指し、安全で快適なモビリティ社会の実現に貢献
	クリーンエネルギーや革新的技術を活用し、自動車／工場・プラントCO ₂ を削減することで、脱炭素社会移行に貢献
	廃棄物を資源化することで、モノづくりを支え、循環型社会に貢献
	アフリカをはじめとした開発途上国と共に成長し、事業を通じて社会課題の解決に取り組む

リリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

[一覧へ戻る](#)

- [> サイトマップ](#)
- [> サイト利用規約](#)
- [> 個人情報保護方針](#)
- [> 個人情報に関するお問い合わせ](#)
- [> 情報セキュリティポリシー](#) [PDF:13]
- [> お問い合わせ](#)
- [> よくいただくご質問](#)